

以前のレポートで、現在工事中の地下鉄銀座線 末広町駅 出入り口(浅草→渋谷方面)のバリアフリー化の事を取り上げましたが、今回は**逆方面**(渋谷→浅草方面)の**バリアフリー化調査**の報告です。

一般的なプラットホームの形状と配置は

- ① 島式ホーム ⇨ 1つのホームの両側が線路に接している。
- ② 相対式ホーム ⇨ 1つホームに一方向の電車が停車するので2つホームが必要



銀座線 末広町駅は②の相対式ホーム(写真)であります。

浅草～上野間は昭和2年日本で最初の地下鉄として開業、昭和5年上野～万世橋間開業で、工法は現在のシールド工法では無く、地面を進路に沿って掘り下げトンネルの上部に土を埋め戻す、開削工法で行われました。

そのため駅は地下の浅いところにあり、他の地下鉄のように左右をつなぐコンコースが設置できず地上の出入口は渋谷行き、浅草行きが別々になっています。



今回の調査では、外神田3丁目の蔵前橋通りの歩道を拡幅してエレベーターを設置する計画が可能か?を調査するもので、調査工事は9/1～9/30までの予定です。

具体的な調査場所は、**左下写真の車道エンジ色部分から旧末広交番あたり**と思われる。



以前から東京メトロには千代田区として要望していましたが、  
やっと両ホーム共にバリアフリー化が実現しそうです。これもオリンピックのお陰でしょうか?

千代田区議会 議員 小林やすお

